

第37回関東地区学校図書館研究大会川越大会 要項

- 1 研究大会名 第37回関東地区学校図書館研究大会川越大会
- 2 期 日 令和5年8月9日(水)・10日(木)
- 3 主 催 埼玉県学校図書館協議会 埼玉県高等学校図書館研究会
関東地区学校図書館協議会 公益社団法人全国学校図書館協議会
- 4 後 援 (申請予定)文部科学省 埼玉県教育委員会 他
- 5 会 場 ウェスタ川越 埼玉県川越市新宿町1丁目17-17
(JR川越線、東武東上線 川越駅 徒歩5分
西武新宿線 本川越駅 徒歩15分)
- 6 開催形式 対面とオンライン(オンデマンド配信)の併用
- 7 主 題 「未来への希望と学びを支える学校図書館」
- 8 趣 旨 急激に変化する社会状況から10年後を見据えて策定された学習指導要領が令和2年度から順次全面実施されている。受け身型から探究型の学習への転換が強く求められる中、学校図書館は、主体的な学びに必要な「学習センター」機能、探究活動に欠かせない能力をはぐくむ「情報センター」機能を活かした学習の拠点として期待されている。加えて、読書体験・感動体験から豊かな心をはぐくむ「読書センター」機能としても重要な役割を担っている。
社会のデジタル化とともに、学校においても「GIGAスクール構想」の実現に向けICT環境整備が加速されている。最大の目的は、子どもたち一人一人の可能性を引き出す個別最適な学びの実現である。一方、ICT偏重への注意も必要である。実体験や読書体験によって磨かれた豊かな感性や思考力という土台の上こそICT活用が効果を発揮する。
中教審は、『『令和の日本型学校教育』の構築を目指して(答申)』として、一人1台端末などのICTを活用した「個別最適な学び」と、集団活動を通して子どもたちの知・徳・体を一体ではぐくむ「協働的な学び」とを組み合わせ、「令和の日本型学校教育」の理念として打ち出した。一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越え、新しい価値を生み出し持続可能な社会の作り手になることが出来るよう、その資質・能力を育成することが求められている。私たちの生活は更に大きく変化していくことが予測される。これからの時代を生きる子どもたちに、未来に希望をつなげ、たくましく心豊かに生き抜く力を育んでいきたい。
本研究テーマのもと、時代の変化に対応したこれからの学校図書館の役割やありかたについて各地の実践や研究に学ぶことにより、学校図書館の一層の充実・発展を目指したい。

9 日 程〔1日目〕

9:00 - 10:00	10:00 - 10:30	10:40 - 12:10	13:20 - 14:20	14:40 - 16:00	16:10 - 16:50
受付	開会式	記念講演	SLA 報告	分科会 A	情報交換会

〔2日目〕

9:30 - 10:00	10:15 - 11:35	12:45 - 14:05	14:25 - 15:45	15:45 - 16:00
受付	分科会 B	分科会 C	分科会 D	諸連絡・閉会

対面開催終了後、一定期間オンデマンド配信を行う。

10 参加費 5,000円(研究集録費含む オンライン参加も同額)

11 大会役員
 大会運営委員長 天達 新一(川越市立寺尾中学校長)
 大会運営副委員長 森 裕子(さいたま市立与野本町小学校長)
 宮崎 正子(三郷市立彦糸小学校長)
 柴崎 勇二(深谷市立南中学校長)
 沖田 潤子(埼玉県立川口東高等学校長)
 須藤 崇夫(川越市立川越高等学校長)
 須田 俊弥(埼玉県立久喜高等学校長)
 山本美千代(埼玉県立大宮高等学校教頭)
 大会事務局長 栗原香菜子(埼玉県立上尾鷹の台高等学校教諭)
 大会事務局次長 中井 美穂(越谷市立武蔵野中学校教諭)

12 大会事務局 埼玉県立上尾鷹の台高等学校
 〒362-0021 埼玉県上尾市大字原市2800番地
 電話 048-722-1246
 FAX 048-720-1013